大阪府感染症発生動向調査週報 (速報) 2023年 第42週(10月16日~10月22日)

今週のコメント

~インフルエンザ~ 咳エチケット、手洗い、マスクの着用、ワクチン接種が重要

定点把握感染症

「インフルエンザ 注意報レベルを超える」

第42週の小児科・眼科定点疾患の報告数の総計は2,239例であり、前週比20.1%増であった。定点あたり報告数の第1位は咽頭結膜熱で以下、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、流行性角結膜炎、手足口病の順で、定点あたり報告数はそれぞれ3.58、3.31、3.14、0.77、0.44である。

咽頭結膜熱は前週比17%増の705例で、中河内6.30、北河内6.16、南河内4.19、堺市3.05、大阪市北部2.79であった。 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は41%増の653例で、北河内4.84、三島4.25、中河内3.75である。

感染性胃腸炎は13%増の619例で、堺市4.79、南河内4.13、大阪市南部4.11であった。

流行性角結膜炎は3%増の40例で、大阪市西部2.00、中河内1.20、北河内1.00である。

手足口病は18%増の87例で、三島1.19、大阪市北部0.86、南河内0.75であった。

インフルエンザは36%増の3,438例で、定点あたり報告数は11.27となり、注意報レベルである10を超えた。ブロック別では、泉州22.79、堺市16.17、中河内12.45、大阪市北部12.21、南河内9.25である。

新型コロナウイルス感染症は9%減の771例で、定点あたり報告数は2.53であった。泉州3.65、南河内3.63、大阪市北部3.26、堺市3.10、大阪市南部2.67である。

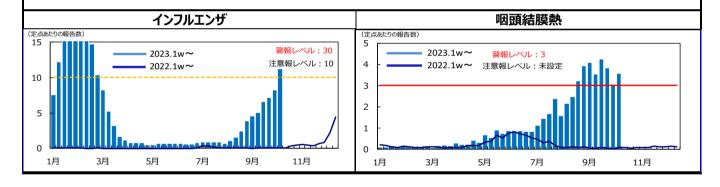


表1. 大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向(2023年 第42週10月16日~10月22日)

	我工,人类为了为14年,我们是派朱龙的生活,(2025年,第4225107110日,10/122日)										
第42週 の順位	第41週 の順位	感染症	2023年 第42週の 定点あたり 報告数	前週比増減	2022年 第42週の 定点あたり 報告数	2023年第42週の 年齢別 患者発生数 最大割合値					
1	1	咽頭結膜熱	3.58	17%増	0.10	3歳_16%					
2	3	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3.31	41%増	0.60	5歳_15%					
3	2	感染性胃腸炎	3.14	13%増	2.04	1歳_15%					
4	4	流行性角結膜炎	0.77	3%増	0.13	20歳以上_80%					
5	5	手足口病	0.44	18%増	1.71	1歳_33%					
参考		インフルエンザ (インフルエンザ定点報告疾患)	11.27	36%増	0.08	10-14歳_26%					
参考		新型コロナウイルス感染症 (COVID-19定点報告疾患)	2.53	9%減	-	10-19歳_16%					

新型コロナウイルス感染症とインフルエンザは、定点種別が異なるため、参考として記載しています。

新型コロナウイルス感染症の詳細はリンク先の『令和2年11月2日以降(大阪府)』の情報をご覧ください。

新型コロナウイルス感染症の詳細はリンク先の『新型コロナウイルス感染症(大阪府感染症情報センター)』の情報をご覧ください。

突発性発しんについては、(1)季節変動はないこと、(2)毎週の定点あたり報告数は一定していること、(3)年次による差異もほとんどないことから、本文には詳細に記載していません。

スには時間に出業しているとん。 2023/24年シーズンのインフルエンザ集計は第36週から開始しました。

第42週のコメント

〜腸管出血性大腸菌感染症〜 食肉・食材の十分な加熱処理、調理器具の十分な洗浄や手洗いの励行などにより、食中毒や感染拡大の予防を徹底することが重要です

全数把握感染症

腸管出血性大腸菌感染症

腸管出血性大腸菌感染症の原因菌は、ベロ毒素を産生する大腸菌で、代表的なものはO(オー)157、O26、O111がある。汚染飲食物を介する経口感染がほとんどで、出血を伴う腸炎や溶血性尿毒症症候群を起こす場合がある。3-5日の潜伏期をおいて、激しい腹痛を伴う頻回の水様便の後に、血便となる(出血性大腸炎)。発熱は軽度で、多くは37℃台である。有症者の6-7%では、発症数日後から2週間以内に、重症の溶血性尿毒症症候群を発症する。初夏~初秋は腸管出血性大腸菌感染症の報告が増加することから、十分注意が必要です。

<u>腸管出血性大腸菌感染症(大阪府感染症情報センター)</u> 腸管出血性大腸菌感染症とは(国立感染症研究所)

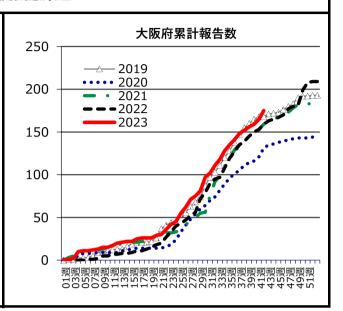


表 2. 大阪府全数報告数(2023年 第42週10月16日~10月22日)

注意: この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります (報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ>【週報】> 全数把握疾患 をご覧ください。)

	疾患名 () 内の病型は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告数	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	報告数
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	10		1	1					8	175
4類感染症	レジオネラ症(肺炎型)	3		2						1	117
	ウイルス性肝炎	1					1				20
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	5		2			3				133
5 類感染症	後天性免疫不全症候群	1								1	59
3 規恩朱進	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1				1					42
	水痘(入院例)	1		1							22
	梅毒	13		2						11	1,628
結核	結核 新登録患者数:56名 (内 肺·喀痰塗抹陽性 20名)										
(2023年8月分)	(府内累積報告数 713名、内 肺・喀痰塗抹陽性 249名)										

(2023年10月24日 集計分)